

# サラブレッドのスポーツ科学



## 第1回 競馬は陸上競技の中距離走

### ■動物界の名ランナー

サラブレッドは地球上の数ある動物種の中でも、最も優秀なランナーのひとつであると考えられています。一般によく知られている最速の動物はチーターで、最高スピードは時速110kmにも達するといわれています。これは、相当のスピードであることは間違いないかもしれませんが、チーターはそれほど長い時間走り続けることが不可能で、せいぜい10～20秒が関の山です。調べてみれば、超短距離走のスペシャリストということになります。

これに対し、走行スピードも速く、しかも持久力を備えているといわれているのがレイヨウの仲間、なかでも北米大陸に住むエダヅノレイヨウ（ブロングホーンアンテロープ）は非常に優秀なランナーといわれています。最高スピードは時速90kmにも達するといわれ、時速70km以上でも数分間走ることが出来るのではないかと考えられています。

競馬は、エリートアスリートであるサラブレッド競走馬が着順を競うスポーツです。2008年1月現在のJRAレコードタイムは、平地芝レースでは、最も短い距離である1000mが53秒7（カルストンライトオ）で、平均スピードは時速67.0kmとなります。一方、もっとも長い距離である3600mは3分41秒6（エアダブリン）なので、平均スピードは時速58.5kmとなります。いずれにせよ、時速60～70kmほどで1～4分くらい走ることが出来るサラブレッドは、スピードと持久力を兼ね備えた素晴らしい動物であると言えます。

### ■スプリンターズSは陸上競技の100m走？

スプリンターズSが近づくと、よく“電撃の6ハロン”といわれ、あたかも陸上競技の100m走であるかのように報道されることがあります。一方で、ステイヤーズSのときには、長丁場のマラノンレースというように形容されることがあります。本当にそうでしょうか。

スポーツを分類するときには、競技時間から比較




するのが良いようです。スプリンターズSのレコードは1分7秒0（トロットスター）であり、前述のようにステイヤーズSは3分41秒6です。これに対し、陸上男子100mの世界記録は9秒74であり、スプリンターズSより時間がかかるかに短く、一方、男子マラソンは2時間4分26秒で、ステイヤーズSよりもはるかに時間が長いことがわかります。つまり、陸上競技の100m走と競馬のスプリンターズSを比較したり、競馬のステイヤーズSをマラソンになぞらえたりするのは、大きな無理があることがわかります。

### ■競馬は陸上競技の中距離走

それでは、競技時間が同じくらいの競技は何でしょうか。それは、陸上競技の中では、いわゆる中距離走がそれにあたります。陸上競技800m走の世界記録1分41秒1は、競馬の1800mのタイムに近い数字ですし、陸上競技1マイル走（1609.3m）の世界記録3分43秒13は、ステイヤーズSに近いタイムになっています。陸上競技400m走の世界記録43秒18から考えると、競馬1000m（レコードは53秒7）にあたる競技は、ヒトでいえば500m走くらいになるようです。もっとも、陸上競技に500m走はありませんが。

また、競技の形態はやや変わりますが、スピードスケートのタイムともよく似ています。男子500mの世界記録は34秒03、1000mは1分7秒00、1500mは1分42秒32、3000mは3分37秒28なので、タイムが似通っているといえます。また、スピードスケート選手の盛り上がった太腿から尻にかけての筋肉などは、サラブレッドに似ているように思えます。

（競走馬総合研究所 平賀敦）

	スピード(時速)	持久力
 チーター	110km	10～20秒
 レイヨウ	70～90km	数分間
 サラブレッド	60～70km	1～4分

サラブレッドは  
スピードと  
持久力が  
トップクラス

